

地域計画

策定年月日	令和7年3月24日
更新年月日	令和8年5月12日 (1回目)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	揖斐川町 (214019)
地域名 (地域内農業集落名)	藤橋地区 (西横山、東横山、鶴見、東杉原、徳山、開田、山手、櫛原、塚、戸入、門入)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	37 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	6.8 ha
② 田の面積	21 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	16 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	1 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	1 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・農業者の大半が高齢であり、主に自家消費用の野菜等を栽培している。
- ・山間部に位置する地区であるため、猿などの獣害が多く、安定した収量も確保することができない。
- ・基盤整備等も困難な地区であり、持続的な農業や農地の維持管理も厳しい状況である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域では認定農業者1人がそばを大規模に生産しているのみであり、その他の農地については個人が自家消費野菜の栽培や保安全管理を実施しているのみである。
現在も農業を続けている農家を守るために、獣害に対する対策をし、安定した収量確保ができるよう取り組む。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
高齢化等に伴い農業をリタイアし、農地の所有者が農地を中間管理機構に転貸した場合は、基本的には地域計画(目標地図)に基づいて農地を貸し出すこととする。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	35 %	将来の目標とする集積率	60 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
集約化は立地上困難であるが可能な限り集約をおこなう。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理事業を活用し、地域の担い手及び新規就農者に集積・集約を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
必要に応じて農地中間管理機構を通じた利用権設定等を活用していく。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備が必要な区域については、地域の中で検討を重ねる。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、地元の意向を踏まえつつ町及び関係機関で連携し、経営体の確保・育成まで支援をする。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
必要に応じて農業協同組合等の農業サービス事業者等への農作業委託を依頼し、活用していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①シカ、サル等の被害が多いため、補助金等を利用し、侵入防止柵の設置及び管理を地域で実施する。

藤橋地区 目標地図

